

令和7年7月29日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

愛知県へ要望書を提出しました
豊川稲荷御開帳を契機とした観光振興、
商業振興施策等について

日本三大稲荷の一つである豊川稲荷では、令和8年に72年ぶりとなる午年開帳が、令和12年に本殿100周年を祈念した大開帳が執り行われる予定であり、観光振興や商業振興の絶好の機会であると考えております。

本地域では、官民一体の「豊川市おもてなし事業推進委員会」による「オール豊川」体制で準備を進めているところであり、愛知県に対して、観光PR、受け入れ態勢の整備等における支援の充実について要望書を提出しましたのでお知らせします。

記

- 日時
令和7年7月28日（月）午後2時
- 場所
愛知県東三河県庁 副知事応接室
- 要望者
豊川市おもてなし事業推進委員会 代表 小野喜明（豊川商工会議所会頭）
豊川市長 竹本幸夫
- 要望先
愛知県副知事 江口幸雄
- 同席者
愛知県議会議員 藤原ひろき
- 要望内容
別紙のとおり



写真データは秘書課広報聴係にあります。

【お問合せ先】豊川市役所 産業環境部 商工観光課 望月・佐野
TEL:0533-89-2140 E-mail:shoko@city.toyokawa.lg.jp

要望内容

《観光振興施策》

- ・ジブリパーク、愛知県国際展示場など県施設やイベントを活用した広域PR
- ・国道、県道等におけるPR看板設置、御開帳に合わせた草刈等の環境整備
- ・御開帳を契機とした市内、東三河、県内周遊、滞在の促進策
- ・コンテンツ造成支援、プロモーションなどインバウンドの促進策
- ・観光施設の設置、改修整備にかかる助成メニューの拡充
- ・観光コンベンション局職員の「おもてなし事業推進委員会」への参画 など

《商店街活性化施策》

- ・御開帳に合わせた商店街活性化事業にかかる助成メニューの創設、拡充
- ・商店街施設の設置、改修整備にかかる助成メニューの拡充 など

《文化振興施策》

- ・豊川稻荷御開帳記念企画「時代を結ぶ墨絵の響き」の広域PR など